

# 松江地区 里親だより

てのひら 特集号 

## 第20号

(令和8年2月発行)

発行：島根県松江地区里親会（松江市・安来市・隠岐郡の里親の会です）  
〒690-0823 島根県松江市西川津町3090-1 島根県中央児童相談所内  
TEL：0852(21)3168 FAX：0852(21)3163  
MAIL：chuo-satooya@pref.shimane.lg.jp

松江地区里親会は、令和8年1月末時点で46世帯、77名で楽しく活動しています。

### 令和7年度の活動紹介

県立図書館にてパネル展示を行いました。  
11月7日～12月8日の間、里親制度について説明パネルや関連図書の展示を行いました。



10月17日に、イオンで街頭活動をしました。準備した普及啓発グッズを手渡しして、里親制度について広報しました。



今年も10月におはなし会を開催しました。  
27名の方に参加いただき、3つのグループに分かれて里親体験についてお話ししました。



## 里親さんからの体験談

現在、Hちゃんという3歳11か月になる男の子を養育しています。我が家に来たのは10か月の頃で、まだハイハイをしていました。初日の夜は大泣きでしたが、2日目になるとちょっとだけ泣き、3日目からは泣かないで寝られるようになりました。

体は硬くて大丈夫かなあと心配しましたが、抱くとしんなりと柔らかく抱きしめる腕にいつの間にか馴染んできました。極度の不安と緊張が体を硬直させていたんだと思います。こんなに小さな体で、わけのわからない不安を受け止め生きてきたんだなと思うと、抱きしめても抱きしめても足りないくらいでした。

やがて歩き出し、話始め、いたずらをして、今は立派な3歳児となりました(笑い)。しかし、少し心配なところもあります。それは自分の思いを言葉にできにくく、2歳児の時には目を離すとすでに友達に噛みついていての状態でした。保育園ではHちゃんのために朝のほんの少しの時間を使って、一週間くらい先生と二人で遊ぶ時間を作ってもらいました。(このことを知ったのは後でした。)言葉がずいぶん増えたなあと、そのことを話すと実は——ということ、保育園の配慮を知りました。

3歳児クラスではぜひサポートがあると、Hちゃん的环境としてじっくりと向き合ってもらえるからいいと思いますよ——という保育園からの提案により、市に加配の手続きをしてもらって、今年はサポートも入り、毎日楽しく二人の先生が大好き!と元気に通っています。

感染症にかかってばかりの初年度でしたが、今では休むことがありません。元気に育ってほしいと願い、毎日抱きしめています。



令和3年に妻と里親登録をしました。養育里親と養子縁組里親の両方を登録はしましたが、養子縁組の希望をしておりませんでしたので、最初の委託まで少し期間がありました。最初の委託は生後間もないお子さんで、急なご連絡だったのでとても驚いたのを覚えております。その後、今度は1歳過ぎのお子さんの委託がありました。現在は、二人とも特別養子縁組の手続きを経て今日に至っております。最初のお子さんは生後約1ヵ月での受託でしたので、本人の認識もないままでの受託でしたが、次のお子さんは1歳3ヵ月で我が家に来たため、最初慣れるまでには時間を要しました。お風呂では終始泣き止まず、夜のねんねのときも私から離れた場所で反対をむいて寝ていました。慣れてくれるまで一体どのくらいかかるのだろうと…とても不安でしたが、思っていたよりは早く慣れてくれました。今では、仕事から帰宅するとたくさん抱っこをせがんでくれるまでになっています。

特別養子縁組の手続きは、上のお子さんと下のお子さんで手続き期間などに違いがありました。それぞれ状況に違いがあるので、それらの要因があるのかもしれませんが。アラフィフで乳幼児を受け入れたため、子供がよい歳になる頃には高齢者の仲間入りになっております。子供たちが独り立ちできるまでは…とってはおりますが、健康に気をつけつつ、少しでも子供の成長に関わることができたらと思っています。



1才半の男の子をお預りして5ヶ月になります。事情があって0才から家庭を離れていますが、乳児院で大切に育てていただいたようで、笑顔が可愛らしく好奇心旺盛、人も動物も大好きな子です。

最初は夜泣きが続いたりオジチャンが苦手だったり言葉が遅れていたりで大変でしたが、今では「オジチャン! いなあい? やあだ!」と言ってくれます。実子3人も泣き声に耳をふさぎながら、辛抱強く見守ってくれています。

先日、親子交流センターに二人で出かけて記名をしたところ、「名字が違うけんオバアチャンかな?」と言われました。自分の白髪とシミとシワを呪いながら「里親だけんオバアチャンですー」と返すと、「里親ならママだね!」とおっしゃいます。「ママは別にいられて、いつか帰るんですけど…」

養育里親をしていると、時折こういった話題になります。私は親類や知人友人にはできるだけ事情を説明しています。里親家庭や制度のことをもっと知ってほしいからです。

実親さんの元へ帰るまで楽しく元気に過ごしてくれたらと思っています。



# 特集

令和7年4月



## 里親家庭サポートセンター でのひら スタートしました!

川津地区民児協定例会などにおいて「**出前講座**」を行い里親制度の概要と、でのひらの事業についてお話しさせていただきました。



マルイ黒田店とイオン松江にて**街頭活動**を行い、里親制度の普及啓発をしました。

**スキルアップ研修**を開催。作業療法士として、長年子どもの発達支援に携わってこられた引野里絵さんにお話しさせていただきました。

「**里親って?カフェ**」を管内のカフェで始めました。里親制度や、子育て短期支援事業についてお話しさせていただきました。



**ひまわりネットの会**を4回開催し、多くの里親家庭にご参加いただきました。



手形アート「でのひらの木」を制作

ひばり座さんのパネルシアターと人形劇

でのひらキーホルダー作りと3B体操



でのひら HP

松江赤十字乳児院  
里親家庭サポートセンターでのひら  
松江市南田町162  
TEL 0852-67-8111

## 温かいご支援をありがとうございました。

今年も島根県電気工事工業組合青年部様より県里親会に「里子激励金」をいただきました。「里子さんたちのために役立ててほしい」と長年にわたりご寄付をいただいています。松江地区里親会では、いただいた激励金で委託中の里親さんを通して、図書カードやQUOカードを贈りました。



嶋田所長

金廻部長

お知らせ

## 第70回島根県里親大会が 浜田市で開催されます。

期日：令和8年8月22日(土) 12:30～16:00  
会場：島根県浜田合同庁舎大会議室（2F）

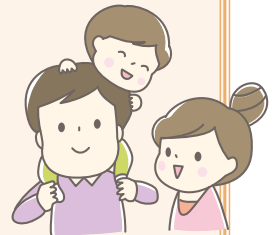


### 里親制度とは？

様々な事情により自分の家庭で生活できない子どもたちを、児童福祉法の規定に基づき、里親が自分の家庭に受け入れ、実親に代わって公的責任の下で養育や保護を行う「子どものための」制度です。

### 里親委託の流れは？

- ① 委託の打診（児童相談所が子どもの状況について説明します）
- ↓
- ② 面会（一時保護所や施設で、職員立ち合いのもと子どもと面会します）
- ↓
- ③ 交流の開始（子どもが面会に慣れてきたら、徐々に外出、外泊とステップアップします）
- ↓
- ④ 委託（児童相談所で適当と判断されたら委託が決定となります）



### 里親になるまでのステップは？

- ① 児童相談所へ相談 → ② 研修受講 → ③ 調査 → ④ 県の審査 → ⑤ 認定・登録（その後は5年ごとに更新）

## 知ってください里親を！ ～おはなし会と出前講座のご案内～

松江地区里親会では里親について多くの方に知ってもらうため「里親によるおはなし会」を小規模を含めて年に3～4回開催しています。「おはなし会」は、実際に子どもを養育した経験のある里親の体験談を聞いていただくものです。「里親って何?」「里親をやっている人の話を聞いてみたい。」など興味をお持ちであれば、ぜひご参加ください。費用は無料です。開催日程については、島根県里親会HP内の松江地区里親会ページでご確認ください。

また、里親家庭サポートセンターてのひらでは里親出前講座を開催しており、各種会合や研修会、少人数の集まりなどへ里親会員が外向き、里親制度や体験談などについてお話しています。

これまで出前講座を行った先

島根県立大学、島根県健康福祉部、持田公民館、島根公民館、松江市ファミサポ、川津公民館（民生児童委員定例会）、松江東ロータリークラブなど

里親制度、おはなし会と出前講座について、お気軽にお問い合わせください。

松江地区里親会事務局（TEL 0852-21-3168）

里親家庭サポートセンターてのひら（TEL 0852-67-8111）



島根県里親会 HP



里親家庭サポートセンターてのひらHP